

## 1. 学ぶ内容

災害時にできなくなること

## 2. ねらい

災害時には電気・ガス・水道などが使えなくなること、また、それらが使えなくなると普段の生活のほとんどのことができなくなってしまうことを理解できるようにする。

## 3. 実施の流れ

(準備) ① ワークシート「水道・ガス・電気が使えなくなったらどうなる？」(個人もしくは班ごとに配布)

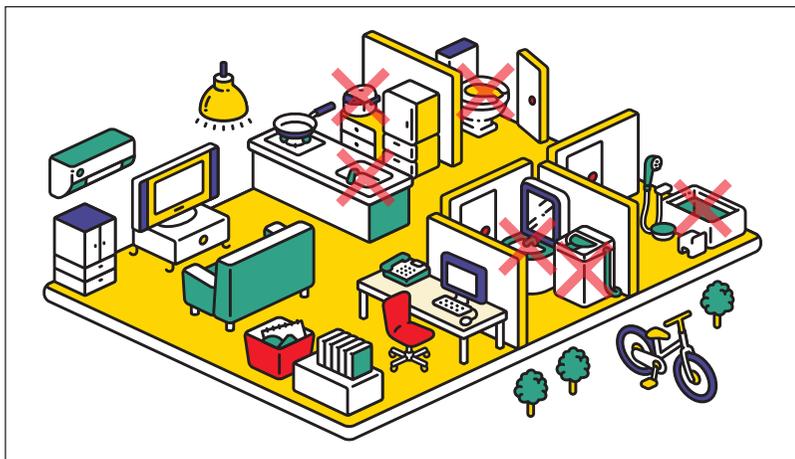
② 「×印カード」を切り取り線に沿って切り取っておく(個人もしくは班ごとに配布)

実施の流れ	内容	ポイント
導入 (3分)	<p><b>地震によって身近で起こる被害について考える</b></p> <p>災害時には、電気・水道・ガスなど、普段当たり前に使っているものが使えなくなるということ、例を挙げながら説明する。</p>	<p>・地震によって生じる被害について、子どもたちとやりとりをする。</p> <p>※「家が壊れる」、「火事になる」などはイメージしやすいですが、地震でライフライン(電気、水道、ガス)が止まるということをイメージするのは難しいかもしれません。以下のような具体的な理由を示し、ライフラインが止まるということを伝えましょう。</p> <p>「電柱が倒れる(電気が使えない)／ガス管が外れる(ガスが使えない)／水道管がずれる(水道が使えない)」</p> <p>※震災時の写真を見せると理解しやすく、有効です。</p>
展開 (10分)	「水道・ガス・電気が使えなくなったらどうなる?」、「×印カード」を配る。	
	<p><b>地震の時、家の中で何ができなくなるのか考える</b></p> <p>ワークを通じて、水道・ガス・電気が使えないと何ができなくなるかについて考える。</p>	<p>・「水道が止まったとき使えなくなるものは何ですか?」と問いかけ、ワークシートの中で、水道が止まったとき使えなくなるものの絵の上に「×印カード」を置いてもらう。</p> <p>・[ワークシート解説書]の説明に沿って、答え合わせをする。</p> <p>・ガス、電気も同様の流れで回答と答え合わせを行う。</p> <p>※オール電化など家庭によって事情が違うので、柔軟に対応する。</p> <hr/> <p>・地震の後、それぞれのライフラインが復旧までにかかる期間を伝え、ワークシートの空欄に書いてもらう。</p>
まとめ (2分)	<p><b>学んだことをおさらいする</b></p> <p>地震の時、出来なくなることを復習する。</p>	<p>・地震の時、水道・ガス・電気が止まることを改めて伝え、その時何ができなくなるかおさらいをする。</p> <p>・地震の時困らないようにするためには、「備え(日頃から準備しておくこと)」と「工夫(身近なものを工夫して使うこと)」が大事だと伝える。</p>

## [ワークシート解説書]

### ●水道が止まった時に使えないもの

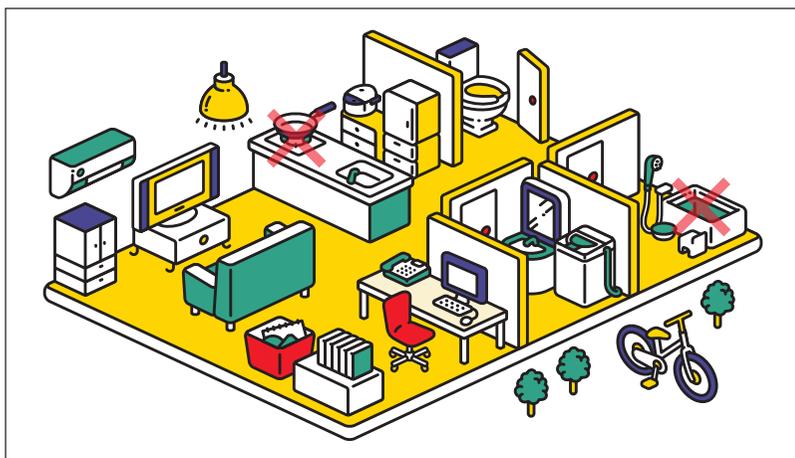
- ・シンク ・炊飯器
- ・トイレ ・洗面台
- ・洗濯機 ・お風呂



### ●ガスが止まった時に使えないもの

- ・ガスコンロ ・お風呂

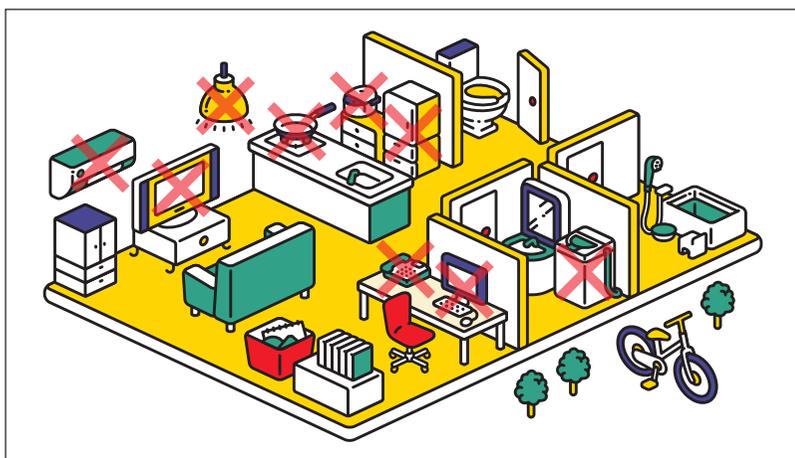
※オール電化のお家の場合、  
「コンロ」も「お風呂」も電気が  
止まったら使えなくなります。



### ●電気が止まった時に使えないもの

- ・エアコン ・テレビ
- ・照明 ・炊飯器
- ・冷蔵庫 ・電話
- ・パソコン ・洗濯機

※IHを使っている場合、コンロも  
※オール電化のお家の場合、  
お風呂も



## 「もし地震で止まったら、使えるようになるまで何日かかるの？」の答え

- 電気：( 6 )日 ●電話：( 14 )日 ●上水道(水道など)：( 30 )日
- 下水道(トイレなど)：( 30 )日 ●ガス：( 55 )日